

今月の一枚



正信偈の写経（12月26日、順慶寺玄関にて）

◆◆ 真宗講座の新企画 ◆◆

順慶寺では、彼の太田力氏による正信偈講座に端を発して以来、真宗講座として、五十年以上月例講座を実施している。本年までは、同朋大学の講師陣による真宗入門講座を開催して頂いたが、来年度からは、住職による正信偈の入門講座と正信偈の写経をする新企画になる。

順慶寺だより



印刷・発行 順慶寺
2026年（令和8年）

1月号

VOL.387

◇ 有頂天のあるこの世界 ◇

新年あけましておめでとうございます。

新年にあたって選んだ釈尊の言葉は、『ダンマパダ』より、

「ある者は人に生まれ変わリ

悪い行いをした者は、地獄に墮ち

善い行いをした者は、天に赴く

汚れない者は、完全な安らぎに達する」

（第二六偈）

からの出典です。

善いことをすれば善い結果がおこり、悪いことをすれば悪い結果がおこる。これは、当然のことですが、そうと分かっていても、失敗ばかりを繰り返しているのが私たち凡夫です。こうした凡夫に対して、反省すれば人としてやり直せるが、悪いことや善いことはかりしようとする、自惚れや我執にとらわれ、やがて有頂天になってしまふと釈尊が戒められています。

今月の出典は、①ティッサという釈尊の従弟にあたる長老の話です。

ティッサ長老は、長年宝石職人の庇護のもと

今月の釈尊の言葉



悪をなせば地に墮ち

善をなせば天に赴く

善悪をこねれば安らぎに達する



『ダンマパダ』

126 偈より

若院のテーマカット NO.78



で生活していました。ある時、王様から磨くために届けられた大切な宝石を、偶然、肉を切つて手で宝石職人が受け取りました。ところが、隙を見て、鷲が肉から出た血がついた宝石を餌と間違えて食べてしまいました。預かった宝石が無くなった職人は、大慌てで探しましたが見つかりません。その挙げ句に、ティッサ長老が盗んだに違いないと、長老を糾弾し棒で殴りつけました。大量に出血したティッサ長老は、苦しみ地面に倒れましたが、また血に誘われて鷲がやってきたので、職人は今度は鷲を殴りつけ殺してしまいました。苦しみの中で長老は、「その鷲のお腹を

見てみなさい」というと、職人は驚を解体し、宝石を見つけました。長老は、怪我がもとでやがて亡くなりました。その後、この真相を釈尊が知ると、職人に庇護されていたティッサ長老は天界に生まれ、職人は地獄に落ちたと、釈尊は弟子たちに語ったといひます。

◇天のとなりは地獄◇

令和3年に亡くなった、中国の易学から編み出したとされる「六星占術」で有名だった、^②細木数子さんは、存知でしょう。晩年に、テレビ出演でも「アンタ、地獄に堕ちるよ」の言葉で注目を集め、軒並み好視聴率を記録していました。

細木数子さんは、若いころ、水商売で大成功して、大金持ちになったが、絶頂期に騙され、大金を負ったことがあったそうです。そのころのことを、

①【ティッサ長老】

釈尊の従弟の一人とされている。釈尊の親族であることを鼻にかけ、他の修行僧に対して横柄な態度を取ることがあったとされる。

その他、釈尊の従弟として有名なのは、提婆達多（釈尊に敵対し、教団の分裂を企てた人物）、阿難（十大弟子の一人で「多聞第一」と呼ばれ、生涯にわたる釈尊の侍者）、阿那律（十大弟子の一人で「天眼第一」と呼ばれた）、跋

ご自身では、

「地獄に堕ちるときは、人生順風満帆のときが多いの。アタシもそうだった。調子がいいから、自分の器の大きさが見えなくなつて、うぬぼれてしまう。ここが頂点だと勘違いするんだね。周囲への感謝も、謙虚さも、何もかも忘れてしまう。あとは、色と欲に溺れるだけ。これが道理。堕ちるのはね、簡単なんだ」（NEWSポストセブン）と述べられました。また、

「借金は額じゃない。親兄弟も友人知人も、『自分のことを誰も相手にしない』状況にまいつてしまうの。これが生き地獄」（同）

とされ、天国のとなりは地獄と実感されたそうです。

実は、善悪どちらもこの世の迷いの中にあり、善悪を離れることがこの世の迷いを離れる道であると感じます。

提や金毘羅などがある。

②【細木数子】

昭和13年4月4日・令和3年11月8日。日本の作家、占術家、宗教家。テレビ出演の際の肩書きは心照学研究者、人間学研究者などと称する場合もあるかつては実業家でもあった。東京都渋谷区出身。おひつじ座。養子は占術家の細木かおり。中国の易学から編み出したとされる「六星占術」の創始者。（ウィキペディアより）



お正月とお取越しのお内仏のお荘厳は違うのかなあ。すぐ忘れちゃうなあ。もう一回教えてください。

そうですね。報恩講は、御本山が11月28日までの一週間お勤めされますし、順慶寺も11月の第三金土日に行われます。これと相前後して、在家の報恩講（お取越）が実施されています。

こうしてみると、報恩講とお正月は近い時期にありますね。お取越にお勤めにあがると、「お取越でおみがきとお荘厳をしたから、そのままお正月を迎えてもいいです」という質問も受

けます。ですが、「お取越と正月のお荘厳は基本的には違うので、きちんと片付けてから、もう一度荘厳し直してください」とお願いします。

では、どのように違うのでしょうか。基本的に、宗祖の祥月命日のお勤めである報恩講は、真宗の年中行事の中で最大ですので、お荘厳も最高のお飾りにします。具体的には、御本尊に五具足（花瓶一對、鶴亀一對、香炉）をお荘厳して、御本尊の上卓と前卓、宗祖の前卓には打敷をします。お華束には御本尊に一對、宗祖前に丸餅を備えます。ローソクは朱蠟を用います。正月は、一年初めのお勤めである修会ですので、すべての打敷をお飾りをしますが、御本尊は平時に用いる、三具足でいいことになっています。ただ、どちらのご縁も心をこめて準備をして、お勤めしましょう。

《第六十九回 声の宗教》

先日、名古屋の東別院を訪れる機会があり、そこで「浄土真宗は声の宗教である」というお話を伺いました。思えば、お念仏の声に始まり、正信偈を皆で声に出して、お勤めする姿は、私にとってごく自然に思ひ浮かぶ光景です。声に出さなければ伝わらない、分らない、と別の文脈で語られることがありますが、「聖教を称える」ということも、まさにその通りだと感じました。

お寺とともに

「親の背中」



「亡くなった人のことや、病気のこの話題が多くて、この家ってなんか話題が暗いよね」

年末、下宿先から帰省していた娘がため息まじりにひと言。その場にいた住職も自分も突然のことに戸惑うばかりでした。

「だって、よそのお家はもっと明るくて楽しい雰囲気だよ」と。

少し間を置いて住職が、「どうして？何も暗くないよ、本当の姿だよ。むしろ生死の世界から背を向けて生活するほうが悲しいよ」

娘は、「もう自分は慣れてるからいいけど」とその話は終わりました。

きっと若い子はロウソクの小さな灯火より、イルミネーションの電飾の方に価値があるのでしょう。むしろ、子供が小さい頃から心がけていたものの、大事なことが伝えきれていない自分の力不足を痛感しました。これからまた長い時間をかけても自分が受けた心の灯火を伝えるべく、きちんと背中を見せていかないと、思いを新たにしています。



1月 新春寺カフェ



2月 総代執行部交代会



4月 タケノコ掘り大収穫



5月 本堂スロープ張替



一年間大変お世話になりました。コロナから完全脱却した一年となりましたが、やはりコロナ禍による大きな変化を身を感じる一年でした。今までのようにうまく行かなくなった面もありますが、皆さんのおかげで何とか一年終えることができました。



6月 境内にグラベルフィックスを敷設



9月 同朋ゼミで御旧跡巡りの旅



10月 公開講座でからくり実演



10月 護寺会バス旅行で奈良巡拝



11月 当山報恩講の御満座



12月 子ども会・習字で一年を振り返る

編集部短信

◆年末の竹藪整備実施Ⅱ ざる12月5日、相木国男氏所有の竹藪整備が実施された。例年、翌年にタケノコがうまく育つよう、毎年暮れに竹藪の伐採と整備を二回に分けて実施しているが、今回はその二回目。

◆真宗講座、来年4月からは正信偈の写経講座Ⅱ ざる12月15日、令和7年度最後の真宗講座を開催。講師の松山先生が親戚の葬儀のため欠席となり、急遽住職が代講した。その席で、来年度から三年間かけて、正信偈を一回一ページずつ解説していくことが表明された。講師は三年間住職が担当し、有志の方に一ページずつ正信偈の写経をする時間をもつことが発表された。

◆順和会ゴルフコンペ4組で開催Ⅱ ざる12月12日、貞宝GCにて、順慶寺護寺会有志の会である、順和会ゴルフコンペが開催された。北風の寒い天気のため、男女14名の参加者は、

12月度護寺会物語

浄忍院釋長善

11月28日寂 羽田長治(96)

知立市 羽田正美様の父

釋尼郁栄

11月30日寂 塚本郁代(91)

今川西組 塚本謙様の母

誠和院釋尼清澄

12月9日寂 塚本澄子(96)

今川西組 塚本紀之様の母

薫風院釋尼美登

12月15日寂 神谷妃登美(76)

市場下組 藤川真紀様の母

4組に分かれて好プレイ珍プレイを連発。笑顔あふれる楽しい交流の一時となった。優勝者は、今川東組の横山政明さん。

編集雑記

師走の中、総代OBの方と一日出掛けることができました。道中、ロマンに「今日はいい天気良かった」「楽しいお出掛けでよかった」「今日来られてよかった」と喜びを連呼されて、「おかげさまでありがとうございます」とお礼をされて行かれました。何だか、仏さまたちと一緒に、心ほっこり温かくなりました。お陰様で、素晴らしい生き方を学んぶひとときとなりました。(住)

秋を感じぬままはやい月、ニュースでは四季から二季へと報じられていましたが、ちょうどよい気候がありません。気づけば寒さか暑さばかりで、春や秋が遠くなりました。(若)



1月の主な行事予定

日	曜	行事内容	掃除当番
1	木	修正会(大晦日深夜23:45~、順慶寺)	
2	金		
3	土		
4	日	参門会(17:00、順慶寺玄関)	
5	月		
6	火		
7	水		
8	木		木-1
9	金		
10	土		
11	日	新春・寺カフェ寄席(9:00~11:00、順慶寺本堂)	
12	月	成人の日	
13	火	今川西組お取越	
14	水	山ノ端組お取越	
15	木	今川東組お取越	木-2
16	金		
17	土		
18	日		
19	月		
20	火		
21	水		
22	木		木-3
23	金		
24	土		
25	日		
26	月		
27	火		
28	水	宗祖聖人御命日(7:00、順慶寺本堂)	
29	木		木-4
30	金	下高根お取越	
31	土		

1月行事内容 詳細

修正会(年越し勤行)

12月31日(水) 23時45分
 ~1月1日(木) 1時終了

順慶寺本堂・境内にて

本年も大晦日深夜から元旦にかけて、修正会(年越し勤行)を左記の日程の通り実施いたします。是非、ご家族そろって御参詣ください。

《修正会日程》大晦日深夜~元旦

23時15分 山門開扉

23時45分 本堂おつとめ始め

24時15分 除夜の鐘始め

24時30分 住職年頭挨拶

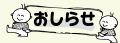
24時30分 貴役・総代長挨拶

24時30分 順次焼香(三十分間)

お屠蘇・お汁粉接待

※お屠蘇の振る舞いは衛生管理のため、試験カップにより実施します。また、南落間にてお汁粉の接待も予定しています。本堂でのお勤めに参加された方には、令和8年度・住職年頭の言葉が入った菓子袋をさし上げます。

『寺カフェ』



1月11日(日)9~11時

新春寄席(愛教大落研)

光家 隼 さん

愛教亭海老/介 さん

★順慶寺・南落間&東屋&本堂

※2月の寺カフェは冬休みでお休みです

お知らせ

●正月の本堂でのお参りについて

正月三が日、順慶寺本堂では、お荘厳を正月飾りにして皆さんの参詣をお待ちしています。正月中に本堂に参詣される方は、平時と同じで、午前六時から午後五時四十五分まで本堂は開いておりますので、ご自由に参加してください。

なお、本堂のお飾り餅は、衛生管理上の観点から、三ヶ日で降ろさせていただきます。

じゅんこのときめき歳時記

若水

新年あけましておめでとうございます。今年も一年がんばりますので、よろしく願います。

順慶寺では、毎年正月に沢山お餅をつきます。今年は餅米が高くて大変だと聞きましたが、仏さまへのお供えは特別ですから、きついつものようにお供えされると思います。

そういえば、正月に初めてくむ水を若水というそうです。若水は、旧年中の穢れをおとし、新しい息吹を引き入れるので、神聖な水としても大切にされていて、お供えの水にしたり、お雑煮やお茶に入れるそうです。

このごろは、お店に行けばいつでも

蛇口から

汲んで若水とも云へり

保坂加津夫



今年もよろしくお参りします

順慶寺だより編集部一同



お参りくださいますようお願いいたします